

農業体験と私の経験

英語道 弟子 T.A

土曜日の朝、畑に行くと木直ちに野菜の芽があららららら出ていました。みんな同じ時期に木直しても、大きき育っているもの、まだ芽が出ていないものと、成長にはばらつきがありました。

全く芽が出ていない種は、もしかしたら土をかけたが、土の中で腐ってしまっているのかもしれない。

自分で播いた種の結果です。そして、それからの種の成長も全て自分の責任です。

同じように、今の私は、これまでの自分の責任です。

きちんと種を播いていなければ、素直な実を付けることはできません。そして、現実とありのままを見て、そこから出発することが大切だと思います。

自分の邪魔をしているのは、いつも自分自身です。

自分に対して正直になり、自分の無知の深さを見つめ、自分をあらためて、清めること。そして、謙虚さが生まれ、感謝の心が育つと思います。

私は種は、芽が出るまで土の中の暗闇に耐えて、やがて地上の光に照らされる。

光を求めて暗闇の中でたたくことは、木直物も人間も同じだと思います。

光に達するよう、自分自身の内側の暗闇でたたくことが、必要です。

しかし、私は生井先生から与えられる栄養を受け取りながら、いやくも

自分の養分は使わす。その場で足踏みをしていくために、

進んでいると基が壊れていくのだと思います。

今回のように、生井先生からご指導いただいたことは、とても幸運であると思います。

大事なことを気づくことができて良かったです。

失敗があること、正しい道を見つけれられることを、改めて実感いたしました。

私はこれからも、自分の理想を実現するために沢山の経験を重ねて、
自分の改善すべきところを変えていくはたまりません。
それには、99%の過ちから学び、1%を金銭で変化し続けられるように、
99%の忍耐をも、必要にすると思っております。

私は、生井先生のもとで、必要なこと全てを学べると確信しております。

「これ」は、自分の道を歩くには、自分の足で。

生井先生から与えてくださる英語稽古を（はじめ、音声や文書の特別教材、
会話、空文、音、...）と「これ」で感じられることは私の心次第です。

そして、私が幸運にも、ここで与えられていること全ては、生井先生の身を削られて
できているものと、真摯な気持ちをもって、その意味を意識しながら
今後とも取り組みたいと思っております。